

ほんわ館だより



第64号

平成30年1月発行

中山町立図書館 ほんわ館

中山町大字長崎8038-9

TEL:023-662-6688

開館時間

10:00~19:00

1月の休館日

1・2・3・9・15

22・29日

おはなし会は

20日(土) 11:00~

あけましておめでとうございます

今年もほんわ館をよろしく願いいたします

2018



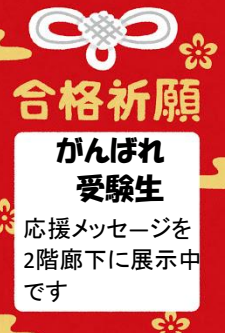
みなさんに幸せがワンさか
集まりますように...

蔵書点検へのご協力ありがとうございました

11月27日~12月4日蔵書点検を行ないました。今回新たに行方不明に
なった本は1冊です。

★「介護用語辞典」前川 美智子/監修 新星出版社【369.0/カ】

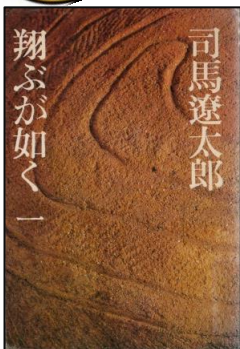
図書館の本は町の貴重な財産です。ルールを守って、大切にしましょう。



第33走者

愛読書リレー

今月のランナーは中山町商工会青年部部長
内藤 陽介さんです！



『翔ぶが如く 1』

司馬 遼太郎/著

文藝春秋

【913.6/シ/1】

『翔ぶが如く』

司馬 遼太郎/著 文藝春秋

今年の大河ドラマが西郷隆盛という事、そしてこの中山町にも縁があるという事で、司馬遼太郎作品の「翔ぶが如く」を紹介させていただきます。私自身、単純に幕末好きという事で、学生時代にこの小説と出会い、これまで何度も読み返しました。西郷隆盛と久保利通、どちらも幕末の動乱を駆け抜け、明治維新をなした立役者。

そして彼らを取りまく人物像を通し、征韓論から西南戦争終結までの激動の時代を描いた小説です。この中山町には、西郷隆盛や弟の従道の史跡や逸話が今も存在しています。幕末ロマンに思いを馳せながら、ゆっくりと中山町を散策するのもいいかもしれません。

♪ありがとうございました!! 次月のランナーは 佐竹 寿教さんです♪



今月のおすすめコーナー

心に響く言葉の本



あけましておめでとうございます
今月のおすすめは「言葉の本」です
良運は ステキな言葉を使う人のところに
集まると言われています

言葉の力を借りて 今年一年も
心豊かに過ごしましょう



『開運・長寿のための
戒語・金言・名句集』
本堂 清 // 画・文
批評社
【159.8/ホ】



『いますぐ笑顔になれる
100の言葉』
三オックス
【159.8/イ】



『ただいるだけで』
相田みつを/著
PHP研究所
【728.2/ア】



『偉人たちの最高の名言に田辺画伯が
絵を描いた』水野敬也 田辺誠一 // 著
朝日新聞出版 【159.8/イ】

他にもたくさん
ご用意しています

新しく入った本



『街歩き 西郷どん!』
林 真理子 / 監修
角川書店 【289.1 / サ】

いよいよスタート!
せご
大河ドラマ『西郷どん』

大人向けの本はもちろん
児童向けの伝記も
多数そろえました



『IMAGINE イマジン(想像)』
ジャン・ジュリアン / 絵
ジョン・レノン / 詩 岩崎書店 【E / シ】



想像して、みんなが人生を
平和に生きてるって。



『西郷隆盛』
双葉社
【289.1 / サ】



『藤沢周平 遺された手帳』

遠藤 展子 / 著 文藝春秋
【910.2 / エ】
藤沢周平 没後20年
遺された手帳から愛娘が読
み解く、苦闘の足跡



『えがないえほん』
B.J.ノヴァク / さく
おおとも たけし / やく
早川書房
【E / タ】

『髪がつかぬ物語』
別司 芳子 / 著 文研出版 【369 / ヘ】(児童書)
長くのばした自分の髪を寄付する「ヘアドネー
ション」日本における活動を、ボランティアとして
参加した子どもたちを通して紹介する

シンプルな仕掛けで、子ども
が大喜びし、本好きになって、
表現力も豊かになる!



ここに掲載されている本は一部です